

～豊かな心と確かな力 瞳輝く寒川の子～

## 寒川町立一之宮小学校

研究テーマ：「主体的に学習に取り組む子どもの育成」

～パフォーマンス課題を取り入れた授業実践の研究～

### 1、実践の目的

主体的に学習に取り組む子どもの育成を目指し、算数科の実践を通して、パフォーマンス課題の設定の仕方やパフォーマンス評価、ループリック作りについて研究を進めてきた。学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図り、子どもの興味や関心・意欲を高め、考えを深められるようにしていくための授業展開の研究を深めていくことを目的とした。

### 2、実践の内容

#### (1) 研究授業の概要

**たけのこ級** 単元名「買い物学習」

本単元の学習を進めるための簡単な加法・減法の計算のやり方やお金の種類(すべての硬貨と紙幣)、電卓の使い方などは概ね理解している。1学期の学習では、硬貨を使って、商品の金額ちょうどの支払いをする学習に取り組んでいる。本単元では、おつりが出る支払いをする買い物学習に取り組んだ。いつでも財布の中に、ちょうど支払える硬貨や紙幣が入っているとは限らないため、過不足なくきちんと支払いをするためには、どのようなお金の出し方が、効率が良いか考えながら支払いができるような課題を設定した。

**3年生** 単元名「表と棒グラフ」

本単元では、棒グラフの表し方や棒グラフに表すことの良さ、二次元表のよみ方や

書き方などを学習する。二次元表や棒グラフへの表し方を知り、その知識を使って実際に「一之宮小給食ランキング」を作るためのアンケートを取り、自分たちで棒グラフに表したり、表し方を考えたりすることで、表と棒グラフの理解の深まりにつながることを、実際にアンケート調査をすることが、目的意識をもった学習につながると考え、このような課題を設定した。

**6年生** 単元名「対称な図形」

本単元では、これまでの図形学習で用いてきた見方・考え方をいかして、身近にあるマークの仲間分けを通して、辺の長さや角の大きさの相等関係、図形間の合同関係などに着目し、対称な図形の性質について考察した。学習を通して、身の回りの整って見える形には、この性質があてはまるものが多いことの気づきを通して、対称な図形の性質を理解することができるような課題を設定した。



## (2) 研究協議の内容

研究協議は、グループに分かれて模造紙に付箋(成果・課題・気づいたこと)を貼り、グルーピングする形式で行った。昨年度の研究協議の反省から、より焦点化された協議になるよう授業を見る視点を明確にした。グループごと児童、教師についてどのような話し合いがなされたのか発表し、その中で、児童が主体的に学習し、より深い理解に繋げるためには、身近な課題設定と体験的な活動の必要性が話題に上がった。研究協議を通して、改めて、一人ひとりを大切にしたい授業づくり、複数教科を取り入れる学習について学ぶことができた。



## 3、実践の成果

### (1) パフォーマンス課題設定による効果

- ・パフォーマンス課題を取り入れたことにより、児童の意欲が引き出され、課題への関心が高まり、主体的に学ぼうとする姿が見られた。

- ・日常生活に生かすなど、実生活と結び付けて課題に取り組む場面が増え、目的意識をもって学習に臨むことが増えた。

- ・単元全体を見通した学習計画が立てやすくなった。

### (2) 他教科への広がり

- ・算数科だけでなく、パフォーマンス課題を取り入れた単元計画を他教科へと広げていくことができた。

- ・これまで実施したパフォーマンス課題、そして今年度実施のパフォーマンス課題と実践を増やすことで、学年ごとの実践例が増え、取り組みやすくなる。

## 4、今後の展開

### (1) 実践から見えてきた課題

- ・課題を設定するのに、学年によっては難しい学年がある。

- ・課題設定の難しさがある。

- ・昨年から引き継いだ年間計画の通りにはなかなか実施できなかった。時間的余裕が足りなかった。

- ・パフォーマンス課題をやるには、基礎力の定着が必要。

### (2) 今後の方向性

- ・これまでの蓄積されたものを生かしながら、今後も「主体的な学び」を軸とした授業を展開していく。

- ・校内研を通して、他教科でも学校全体で取り組むことで様々なアイデアを出し合ったり、授業を見合ったりしていきたい。

